

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用																															
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置																															
1	男 70代	切除不能な肝細胞癌 (2型糖尿病、肝硬変、動脈硬化、食道癌)	12mg 64日間 ↓ 中止	<p>間質性肺炎 体重 62kg リンパ節転移あり、既喫煙者</p> <p>投与2日前 胸部CT所見：両肺下葉に背側無気肺を認める。両肺S5に索状影を認め、炎症後変化を疑う。肺野に転移を疑う結節性病変を認めず。</p> <p>投与開始日 本剤12mg/日 投与開始。</p> <p>投与64日目 薬剤性間質性肺炎を発現。LDH上昇、胸部CT検査により発覚。</p> <p>(投与中止日) 呼吸器内科にコンサル。KL-6上昇を伴い、薬剤性の間質性肺炎の診断（症状：痰）。</p> <p>胸部CT所見：両肺の末梢を中心に索状やすりガラス状の濃度上昇が出現。薬剤性肺炎の可能性あり。肺野に腫瘍性病変認めず。胸膜に板状の肥厚と石灰化を認め、胸膜プラークの所見。胸部リンパ節腫大なし。胸水なし。</p> <p>投与中止35日後 プレドニゾロン30mgの内服を開始。</p> <p>投与中止103日後 薬剤性間質性肺炎は回復。</p>																															
<p>臨床検査値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>投与 3日前</th> <th>投与 64日目</th> <th>投与中止 4日後</th> <th>投与中止 21日後</th> <th>投与中止 35日後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>KL-6 (U/mL)</td> <td>－</td> <td>－</td> <td>817</td> <td>865</td> <td>740</td> </tr> <tr> <td>SP-D (ng/mL)</td> <td>－</td> <td>－</td> <td>334.5</td> <td>193.8</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>LDH (IU/L)</td> <td>192</td> <td>280</td> <td>－</td> <td>231</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>CRP (mg/dL)</td> <td>0.89</td> <td>0.85</td> <td>－</td> <td>0.32</td> <td>0.17</td> </tr> </tbody> </table>							投与 3日前	投与 64日目	投与中止 4日後	投与中止 21日後	投与中止 35日後	KL-6 (U/mL)	－	－	817	865	740	SP-D (ng/mL)	－	－	334.5	193.8	－	LDH (IU/L)	192	280	－	231	183	CRP (mg/dL)	0.89	0.85	－	0.32	0.17
	投与 3日前	投与 64日目	投与中止 4日後	投与中止 21日後	投与中止 35日後																														
KL-6 (U/mL)	－	－	817	865	740																														
SP-D (ng/mL)	－	－	334.5	193.8	－																														
LDH (IU/L)	192	280	－	231	183																														
CRP (mg/dL)	0.89	0.85	－	0.32	0.17																														
併用薬：リナグリプチン																																			

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用			
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置			
2	男 50代	肝細胞癌 (高血圧、右 季肋部痛)	8 mg 10日間 ↓ 中止	<p>間質性肺炎 体重 56kg 肺転移あり, 喫煙者</p> <p>投与6日前 投与開始日 投与9日目迄 投与10日目</p> <p>胸部CT所見：多発肺転移, 右胸水(+), 間質影は認めない。 本剤 8 mg/日 投与開始。 酸素飽和度95~96% (room air) で推移。 午後, 酸素飽和度84% (room air) に低下。この時点では自覚症状なし。胸部CTで両肺に間質影が出現。薬剤性間質性肺炎と診断。 酸素吸入開始。ステロイドパルス療法開始 (メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム 1 g, 3日間)。SBT/ABPC 6 g/日開始。呼吸困難出現。 胸部CT所見：両側 (左肺優位) に網状影。濃度上昇を新たに散見。多発肺転移は前回同様~増大。右胸水増量。左胸水ごく少量。</p> <p>投与11日目 (投与中止日) 投与中止1日後 投与中止2日後</p> <p>酸素化悪化。NPPV 装着, FiO₂ 50%。本剤投与中止。 酸素化悪化。NPPV, FiO₂ 80%。意識障害出現。 薬剤性間質性肺炎による呼吸不全で永眠。</p>			
臨床検査値							
			投与 6日前	投与 8日目	投与 10日目	投与中止 1日後	投与中止 2日後
KL-6 (U/mL)			-	-	-	-	831
LDH (IU/L)			360	468	497	916	-
CRP (mg/dL)			11.69	14.28	19.09	13.27	-
β-Dグルカン (pg/mL)			-	-	2.0	-	-
併用薬：ニフェジピン, アセトアミノフェン, ロペラミド塩酸塩, オキシコドン塩酸塩水和物, 酸化マグネシウム							